

メビウスパッケージング株式会社とキョーラク株式会社が、 二重構造容器「スポツと eco ボトル」のライセンス契約の検討を開始

メビウスパッケージング株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：坂崎 博昭）と、キョーラク株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：長瀬 孝充）は、このたびキョーラク株式会社が開発した二重構造容器「スポツと eco ボトル」に関して、市場の要求にお応えしていくべく、ライセンス契約の検討を開始しました。



リサイクル可能な PET 外容器と袋状の内容器を引き抜くことができる「スポツと eco ボトル」

スポツと eco ボトルの製品概要

1. 残量低減と簡単な分別

容器が「PET 外容器」と、酸素透過を防ぐ「バリア性」を備えた極めて薄い袋状の「内容器」に分かれており、内容物が出せなくなった際に内容器のみを引き抜くことができます。引き抜いた内容器は薄いフィルム袋状であるため、残っている内容物をさらに絞り出して最後まで使い切ることができます。内容物残量を減らすことができ、フードロス削減になることはもちろん、消費者の「最後まで使い切りたい」ニーズに応えられる製品となっております。



内容器を引き抜く様子



内容器の中身を絞り出す様子



左から内容器を引き抜いた後の外容器、中身を絞り出した後の内容器、絞り出された内容物。

2. 内容器の酸素バリア性能と重量低減

内容器は多層構造になっており、従来の PET 容器と比べて高い酸素バリア性を備えております。内容物の賞味期限延長も期待でき、フードロス対策となります。さらに、バリア性を内容器に付与したことにより、PET 外容器を薄くすることも可能となりボトルの重量削減（＝減プラ）にもつながります。

3. リサイクル可能な PET 外容器

内容物は内容器の中に入っているので、PET 外容器には内容物が触れることはありません。そのため水平リサイクルに組み込むことも可能な資源になると考えています。

それだけでなく、ポリプロピレンやポリエチレンなどで作られることが多い油容器や食品以外の日用品なども、「スポッと eco ボトル」を採用することで、その多くを PET＝「資源」に変えることが可能になると考えています。

■キョーラク株式会社について

キョーラク株式会社は、プラスチックのパイオニア・総合企業として、その高度な独自技術とそこから生み出される特色ある製品で、環境に優しいより良い社会（世の中）の実現を陰で支えるベストパートナーであり続けたいと願っています。

会社名：キョーラク株式会社

本社所在地：〒103-0004 東京都中央区東日本橋 1 丁目 1 番 5 号

代表者：代表取締役社長 長瀬 孝充

創立：1917 年 9 月 20 日

事業内容：プラスチック製品の製造・加工並びに販売

URL: <https://www.krk.co.jp/>

【キョーラク株式会社 お問い合わせ窓口】

パッケージング事業部 容器開発部

TEL：03-5833-2803

FAX：03-5833-2880

URL：<https://www.krk.co.jp/contact/>

■メビウスパッケージング株式会社について

メビウスパッケージングは、東洋製罐グループのプラスチック容器事業を統合し、2018 年 4 月に新会社として事業を開始しました。東洋製罐グループの一員として、グループ各社で長年培ってきた、優れた技術力、製品開発力、および品質・コスト管理といった経営資源を融合することで、高品質で持続可能な製品の安定供給に向けて取り組んでいます。